

全ての「社長のひとりごと」がWEBで読める！
「くぼかわよしみち.com」毎月20日更新!!

くぼかわよしみち.com

検索

ホームページ

- asahiglobal.co.jp
- global-mie.co.jp
- super-chintai.com
- agg-hd.co.jp
- goldtrust.co.jp
- goldage.co.jp
- kubokawayoshimichi.com

デンマーク型、介護の実態



アサヒグローバル株式会社 代表取締役
ゴールドトラスト株式会社 代表取締役
ゴールドエイジ株式会社 代表取締役
文／久保川 議道
text:Yoshimichi Kubokawa

日本の高齢者政策、特に『介護』については『デンマークを目指す』と私は教えられてきました。そして今回は念願のデンマーク視察に行つてまいりました。会社の社員の館長や施設長や役員を連れて8人での視察でした。まずは全体的に一番ビックリしたことは、私も一応聞いてはいましたが、スウェーデンやデンマークの『高福祉政策』の実態です。特にデンマークは徹底した高齢者対策の実行をしていましたから、スウェーデン以上のやはり『世界一の介護モデル』となっていました。

『日本のお役人』もデンマーク視察にたくさん行つていて、これからは『デンマーク型』だとおっしゃいます。政治家ではなくお役人が言えば日本はそうなるのですから、日本はきつとデンマークになりますね。実際、もうその流れで日本中に『デンマーク型のサ高住』がバンバン建設されている訳ですから、もうその流れは止まりません。

これからの日本は、『医療』ではなく『介護』が主流となって超高齢化問題を解決して日本の『福祉政策』をひっぱっていくことになりそうですし、そこに日本の『住宅政策』が加わつて、もう日本は完全にお金も人も物も『高齢者

産業振興国家』となっています。

シャープも倒産の危機。パナソニックもソニーも復活不可能な大赤字。車産業のトヨタも中国での失敗と円高で四苦八苦です。もう日本での車産業の成長はありませんね。その証拠に豊田市の賃貸住宅の空室率が40%を超えています。今は少し良くなりましたが、以前の豊田市にもどることはありません。

ニッサンが中国でもアメリカでも（ニューヨークのタクシーは全てニッサンの電気自動車になります。）売上を伸ばして一番元気なのですが、皆様はご存知でしょうか。ニッサンはもう日本の会社ではありませんね。フランスの会社です。

ということでもう日本の発展はありません。そんな中で『高齢者産業』だけが発展、大成長しているのは、嬉しい事なのか悲しい事なのか私自身も複雑な心境です。しかし反面、もう日本では『待たなし』の状況です。税収が40兆円しかないのに医療に36.6兆円、介護に7.9兆円、合計44.5兆円が使われているのは『異常』です。それがこれから『60兆円』になるのですから、待たなしの『政策』です。

さてデンマークでの『ビックリ』を『5つ』お話しいたします。これら5つのビックリはみんなつながつていて、大きな1つのビックリになって『デンマーク型モデル』が実現しています。

デンマークの福祉はいいね。と『部分』でとらえても何も分かりませんし、良い所だけ真似しようなんて言う『虫のいい話』はありません。社会全体のシステムの1つとして機能している『高齢者住宅』だから上手く行くのであって、さて日本の『サ高住』が本当に『日本を救う』高齢者対策になるのかどうかは、これからの私達の努力次第と言つていいでしょうか。私も含めて頑張りたいと思います。

では意外なところから①デンマークの女性の就業率は88%（20〜44歳年齢）です。ですから子供はゼロ歳から保育所に預けられての共同生活をしますから、子供の時から『自立心』が訓練されて、そして18歳になると全員家を出て、自立した生活をしています。

学費は無料ですし、専門学校に行けば給料がもらえますし、全国民の住宅の25%は国営ですから住む所にも困りません。このあたりからもうすでに日本の状況とは全く違います。

ね。と言う事で65歳以上の高齢者になつても『自立心』が異常に高く、皆さんがギリギリまで自宅で頑張つて生活する『国民性』です。『自立と尊厳』を絵に描いた様な福祉政策が実行できるのも、このデンマークの幼い時からの教育のお陰であつて、日本で全く同じことは実行できませんね。

②次にその大福祉国家が『大失敗』をしました。1960年代から20年間『高齢者施設（プライエム）』を約5万床も作つてしまいました。全人口約531万人、高齢者率14.1%で70万人の7%が5万床ですね。

そしてオイルショックで財政破綻です。所得税55%、消費税25%ですから、もうこれ以上税金は取れません。そこでデンマークは『大反省』をして高齢者の福祉政策を『大転換』したのです。これを日本政府は参考にして、『お手本』にしました。介護を提供しやすく受けやすい『施設介護（プライエム）』を1988年1月から全面的に禁止して、『介護付高齢者住宅（プライエボリー）』に全て転換しました。

反省した考え方は大きく2つです。1つは『介護から生活主体へ』2つ目が『高齢者3原則』の『継続性の維持』『自己決定の尊重』『自己資源の活用』でした。高齢者が持っている残存能力を引きだす介護です。これらは日本が真似をしたんだと思います。『住み慣れた地域で、自分らしく最期まで』ですね。まあデンマークも、オイルショックの経済危機を機会に、介護に対する考え方を転換しました。

そして次に③『優秀な人材』を介護に集めています。給料は日本の2倍。週休2日で、それ以外に6週間の連続休日付きですね。ですから二人の求人募集に20人の面接希望者が集まります。

ナースは日本と変わりませんが、ヘルパーの資格は2種類です。SSH（社会福祉保健ヘルパー）は1年間の基礎教育と1年2ヶ月の専門教育を受けて、家事支援と身体介護の一部を行います。SSA（社会福祉保健アシスタント）はプラス1年8ヶ月間の教育を受けて、介護と看護とリハビリのアシスタントまでやります。日本では、『准看護師』の様な仕事ですね。ちなみに館長やマネジャーには資格

はいらないのですが正看護師の経験者が多い様です。要するにこのあたりから『介護と看護』が一体になって、能力のある人材が高齢者住宅を支えている所が日本と少し違いますね。これからの日本もこの人材教育と採用に本気で取り組まないと『デンマーク』は実現しませんね。

④デンマークの医療は全てホームドクター制で、1人のドクターが1500人を見ています。ドクターの数は3500人ですから人口500万人全員ですね。急性期病院にはこのホームドクターの紹介がないと行けません。そして入院日数は15日以内で退院させられます。そしてそのホームドクターが高齢者住宅での『看取り』の責任者になって、ヘルパーや看護師とチームで働く訳ですね。はい、日本もそれを目指しています。

⑤施設は中止して、介護付住宅（40m²）と高齢者住宅（60m²）がデイセンターやアクティビティハウスを併設されて地域にまんべんなく配置されています。デイは地域交流の場（介護も看護も提供）アクティブハウスは1ヶ処で一週間に1000人の利用者が、年間50を超えるイベントメニューに参加しています。日本では『定期巡回随時対

応型訪問介護看護』の実現と似ています。

以上、この5つのビックリする様な仕組みが、1つ欠けても『デンマーク型』の介護は実現できませんね。今の日本ではこの5つのどれも実現されていません。そしてまた、いくら高齢者住宅ばかり建設しても、残りの4つが付いてこない。『安心・安全な介護』と『経済破綻のない介護』は実現できない。と言うのが正直な私の感想です。

さてもう1つ『正直な感想』を申し上げますと、私のゴールドエイジではこの5つは『大体実現』しているな。と思いましたが、顧問や先生方の指導をいただいで、『デンマーク型らしき』介護を実現しています。ゴールドエイジの言う、『チーム在宅』（介護・看護・医療・生活支援・家族の協力）の方針と実行は間違いがなかったな。とホッと安心しているところです。

これからもより良くより良く改善して行きたいと思えます。デンマークの報告でした。

ゴールドトラスト(株)
アサヒグローバル(株)
代表取締役 久保川 議道